

<研究名称>

造血器悪性腫瘍における新規診断マーカー確立を目指した病理学的研究

<実施責任者及び実施担当者>

所 属 病理診断科

職 名 副部長

氏 名 菊地智樹

<研究期間>

研究実施期間 2021年3月1日から2023年3月31日

<診療・研究の目的>

造血器悪性腫瘍は主にリンパ節や骨髄に主座をおく造血細胞を由来とする悪性腫瘍であり、白血病や悪性リンパ腫がその代表的なものである。これら造血器腫瘍は形態学的診断のみならず、多種の免疫組織化学、分子生物学方法も組み合わせ、診断する必要がある。ただし、良悪性の診断や、分類困難な症例も多く、新規の診断マーカーの必要性が期待される。今回は病理学的診断や予後予測に有用な新規バイオマーカー検索と確立を目指し、臨床応用を目指すものである。

<実施内容（方法）>

病理診断科で管理しているパラフィン薄切および凍結保存検体を使用し以下の検討を外部研究施設に依頼し、解析を当院で行う。

1. 免疫組織化学(in situ hybridization 法を含む)

パラフィン薄切標本を使用して新規診断マーカーとなりうる各種蛋白に対する抗体使用して免疫組織化学的(in situ hybridization 法を含む)に検討する

2. Fluoresence in situ hybridization(FISH)

パラフィン薄切標本を使用して FISH を行い、遺伝子の転座や増幅をみる。

3. 遺伝子解析

パラフィン検体ないしは凍結検体から抽出した DNA で、クロナリティ解析や遺伝子変異解析を行う。

<危険性（副作用）等>

既存の試料を用いるため、対象となる個人およびその家族等の関係者に危険性は無く、不利益になる事はない。

<倫理上問題になると考えられる事項>

本研究は、2005年1月から2023年3月にかけての病理に提出された組織のみを用い、研究を行う。既存の試料を用いるため、対象となる個人およびその家族等の関係者に危険性は無く、不利益になる事はない。また、被験者の個人情報については、年齢、性別、疾患名、検査データ、治療内容、予後の情報を使用する。外部機関には個人情報は送られず、秘密は保持され、被験者の同意取得は必要でないとする。

ただし病院のウェブサイトにてオプトアウトする。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 病理診断科 菊地 智樹

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648